

令和2年度 日本橋中学校 外部評価報告書

外部評価委員： 岩田 博、高橋道儀、喜多隆正、郷 金二郎、倉谷通孝（敬称略）

評価時期 令和2年2月

## 1 重点目標の評価

### (1) 重点目標1

（生徒一人一人を大切にした学習指導で学びの質を保障し、確かな学力の向上を図る。）

学力向上に関する取り組みの評価として

- ・休校に伴い、授業時数の確保などが懸念されたが、80%以上の保護者が授業時数は確保されていると感じており、生徒に関しては、「授業の進み具合はちょうど良いと思いますか」という質問に対して、80%以上の生徒が肯定的な回答をしている。
- ・サプリノートの活用については、学習に対するレディネス（予習）の重要性が増すと考えられることから、学校全体で組織的に取り組み、保護者と連携をして、さらに多くの生徒が家庭学習の習慣を身に付けるようにしたい。

### (2) 重点目標2

（暴力やいじめがなく、生徒同士、生徒と教師が、規律をもって豊かに関わり合う。）

- ・コロナ禍ということもあり、様々な行事を通して、生徒たち同士が関わりを深めていく活動に制限があったが、ICTを活用し、身体的な距離を取りながら、交流ができるよう取り組んだ。今年度は、深刻ないじめ問題は起きていないが、生徒、保護者ともに、いじめ、不登校、問題行動等の早期発見には引き続き課題意識がある。生徒相互の人間関係、生徒と教師の信頼関係を一層深めるために、生徒会活動や、学校行事、校外学習の達成感や充実感もてるよう努めていきたい。学校の取り組みがきちんと理解されることが大切である。

### (3) 重点目標3

（学校生活を健康・安全に過ごすとともに、将来展望性をもたせる活動を充実させる。）

- ・家庭の協力を得ながら感染症予防対策を十分に行っている。
- ・多くの生徒が、集団行動における規律意識が高く、日常的な学校の指導の成果が表れており、学校生活は落ち着いている。
- ・進路を主体的に考える学年での取組に、多くの生徒が取り組みを肯定的に捉えている。時代や環境の変化等に応じたキャリア教育の内容を、工夫改善を進めていくことが一層求められる。

## 2 今後の改善に向けた意見

- ・来年度4月より一人に一台タブレットが導入されるため、学力向上、基礎・基本の定着を目指し、効果的にICTを活用する必要がある。

## 3 その他の意見

- ・今後もコロナウイルスへの対応が求められるが、生徒や保護者が引き続き、学校の取組に対して充実感や達成感もてるよう、学校生活及び行事のあり方を検討する必要がある。

